CO·OP News Release

つながって、つぎへ

2026年11月20日

主要地域生協の10月度供給高（売上高）速報

～店舗、宅配ともに前年超え～

日本生活協同組合連合会

日本生活協同組合連合会（略称：日本生協連、代表理事会長：新井　ちとせ）は、全国66主要地域生協の2026年10月度の供給高（売上高）の速報をまとめましたので、ご報告いたします。

■全国主要地域生協2026年10月度供給高・前年比（対象生協数66）

10月度速報値	供給高（百万円）	前年比（%）	総供給高に対する構成比（%）
総供給高（①+②+③）	249,346	100.7	
①店舗	83,311	100.5	33.4%
②宅配	160,905	100.7	64.5%
宅配のうち個配	127,364	101.8	51.1%
③その他供給高	5,130	102.3	2.1%

2026年度前年比推移（%）	4月度	5月度	6月度	7月度	8月度	9月度	累計
総供給高（①+②+③）	100.3	99.6	100.3	100.6	99.8	98.9	99.9
①店舗	101.2	102.4	101.1	100.7	102.0	100.6	101.3
②宅配	99.9	98.3	99.7	100.7	98.4	98.0	99.2
宅配のうち個配	101.0	99.2	100.3	101.8	99.1	98.4	100.0
③その他供給高	98.4	96.6	105.6	99.2	101.1	101.7	100.4

※供給高とは売上高や販売額のことです。

※その他供給高は、店舗･宅配いずれにも分類できない供給（灯油・葬祭など）を計上しています。

※構成比は小数第二位を四捨五入しています。供給高の百万円未満は切り捨てのため、総供給高と内訳の合計が一致しない場合があります。

※今回記載の過去月度の前年比は確定値です。先月以前のリリース記載の前年比（速報値）とは若干異なっておりますので、ご了承ください。

■今月の特徴

○10月度の総供給高は、100.7%で前年を上回りました。

○店舗は、100.5%でした。客数は前年未達でしたが、客単価が前年を上回りました。分類別では、農産、水産、畜産、総菜、日配、加工食品・菓子、雑貨が前年を超過しました。米は、新米の価格が前年より下がったことで、引き続き減収となっています。

○宅配は、利用人数が前年を下回ったものの、客単価は上回り、100.7%でした。

以上

＜お問い合わせ先＞
日本生協連 広報部
TEL：03－5778－8106